

議会評価意見書（令和 6 年度事業）

事業名	イベント情報発信事業	
議会評価	事業内容：廃止	予算規模：廃止
【評価理由】 本事業は、イベント情報の発信力強化と市民・観光客への認知向上を目的として、令和 6 年度に新たなシステムを構築し運用を開始したものであり、初年度には 49 件の投稿実績があるなど、一定の成果が認められる。 市内イベントを一元的に閲覧できる利便性が高く、これまで不足していた情報発信機能の強化にもつながっている。主催者自身が情報を投稿できる仕組みは、情報量の増加とともに市民参加型の情報発信としても有効である。 一方で、運用の評価や改善に当たっては、アクセス数や投稿者・主催者からの評価、実際のイベント運営への効果などを点検し、今後の改善に生かしていく必要がある。 以上の点を踏まえ、現時点では事業の目的は概ね達成されており、令和 7 年度は構築されたシステムでの運用を他事業において継続されていることから本事業としては廃止と判断する。 また、本事業は令和 6 年度の単年度事業としてシステム構築を行い、一定の成果が得られており、当初の目的は達成されたと判断できる。 システムの構築自体は概ね妥当であったが、事業の性質上、今後の運用は既存の体制や仕組みの中で対応可能であると考えられるため、新たな予算措置を継続して講じる必要性は低い。 媒体の拡充や改善に当たっては、必要に応じて既存事業や他施策との連携を図ることが望ましく、本事業としての予算規模は廃止とすることが適当である。 【執行部への提案内容】 イベント情報の収集体制や市内各団体・事業者との連携状況について検証を行い、市の各課とも連携して情報提供体制を強化することが求められる。 発信内容の点検体制や苦情対応の仕組みについて、発信者側の責任を含めた明確な運用ルールを整備が必要である。 市内外からのアクセスが一定数あることから、今後も継続的に情報更新に努めるとともに、市内利用者の増加を目指したさらなる周知の工夫が求められる。 観光情報にとどまらず、飲食店やローカルフード等の生活密着型情報も含めることで、情報コンテンツの価値向上が期待できる。 市公式 LINE など、手軽にアクセスできる媒体の活用も視野に入れつつ、主催者の投稿促進やターゲットに応じたジャンル別の発信手法を検討するなど、情報発信の工夫を重ねていく必要がある。		